

講義科目 : 住生活論	単位数 : 2
担当 : 木下 誠一	学習形態 : 選択科目
	建築士指定科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

人間の生活にとって欠かせない存在である住まいが、風土や家族、社会的・文化的条件など、生活を取り巻く諸条件との関係によって、これまで歴史的にどのように形成されてきたかを学ぶ。また、家族形態の多様化や高齢化、情報化など現代の住生活が抱える課題を理解し、今後の住生活のあり方を考察する力を身に着けることを目標とする。

授業計画

第1回	住まいと風土	(1) 世界の住まい
第2回	住まいと風土	(2) 日本の住まい
第3回	住まいの歴史	(1) 近代以前
第4回	住まいの歴史	(2) 近代以降
第5回	住まいと生活様式	(1) 起居様式
第6回	住まいと生活様式	(2) 食事・入浴慣習
第7回	住まいと家族	(1) ライフスタイル
第8回	住まいと家族	(2) ライフサイクル
第9回	住まいの快適性	(1) 室内環境
第10回	住まいの快適性	(2) 維持管理
第11回	住まいの快適性	(3) 福祉
第12回	住まいと地域	(1) コミュニティ
第13回	住まいと地域	(2) 共同秩序
第14回	住まいと地域	(3) 団地再生
第15回	まとめと確認	

教材・テキスト・参考文献等

随時、資料を配付する。

成績評価方法

- ・出席を毎回取る。6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。
- ・講義のテーマ毎に実施するレポートにより評価する（100％）。

実務経験

一級建築士として建築設計事務所に勤務した経験を活かし、授業では実践的な計画・設計手法についても講義する。